

出張報告書

平成28年10月25日

市議会議長 様

会 派 名 公明党

代表者氏名 友永 修

下記のとおり報告します。

記

- 1 目 的 「小中一貫教育」「チーム学校」の講座に参加して
議員力アップを目指す
- 2 出 張 先 熊本県熊本市中央区辛島町
- 3 出張期間 平成28年10月11日～平成28年10月12日
- 4 出張者氏名 南 加代子、松本 妙子
- 5 てん末報告 別紙の通り

公明党（会派）行政視察レポート

報告者 松本 妙子

視察先	熊本県	テーマ	教育行政基礎講座
日時	平成28年10月11日、12日		
参加者：南加代子、松本妙子			
<p>●市政の課題の解決に向けて、参考になるとと思われることと考察について</p> <p>1. 小中一貫教育について</p> <p>小中学校が目標を共有し、その達成に向け小中学校9年間を通して系統的な活動の展開を要する教育。教育理念が統一されている。「小中一貫教育」も運営形態の違いはあるが、本市の場合、一人の校長の下、原則として小中免許を併用した教員が9年間の一貫した教育を行う新たな学校種を学校教育法に位置付ける「義務教育学校」が適しているのではと考えます。確かに「中一ギャップ」解消には効果があるのではないかと考えます。</p> <p>2. チーム学校について</p> <p>学校現場が抱える問題が深刻化している中、日本では学校や教員に求められる役割が拡大し、多様化しています。子どもと向き合う時間の確保等のための体制整備が必要。心理・福祉面の支援、通学路の安全確保、学校外での生徒指導、保護者対応、特別支援教育、学校評価・外部への説明責任など、学校の役割拡大による業務量増加。補修など、学校における教育活動を充実させるためのサポートスタッフの増員も必要ではないか。多彩な人材の参画による学校の教育力向上に向け、取り組むべきだと考える。</p>			